
「第 49 回地域経営学会研究大会」開催趣意書

地域経営学会は、「地域経営学」という新たな学問領域の学術的理論構築を目指すとともに、「地域住民の幸福な生活の視点」から、有形・無形な地域特性・地域資源を活用した地域価値の創造を目指した実践的な調査・研究・提言を行っている学会です。

当学会は、学会員の「個人的研究、共同研究(スタディ・グループ等)」のほか、持続可能な地域社会の創生に向けて重要な地域社会の課題解決のための「特別委員会」を設けて調査・研究・提言を行っています。

この度、青森中央学院大学の協力により「第 49 回地域経営学会研究大会」が開催されることになりました。ここにお力添えをいただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

今回の研究大会では、地域価値の創造に関する 6 件の研究報告に加え、シンポジウムⅠ「持続可能な地域社会創造のための地域経営戦略を考える」、シンポジウムⅡ「地域社会を先導する地方大学の再構築に向けて」を設定いたしました。

第 49 回地域経営学会研究大会の成果は、「青森中央学院大学からの発信」として当学会のみならず持続可能な地域社会の創生に向けて取り組んでおられる皆様方にも公表して参る予定です。

当研究大会は、地域社会に開かれたオープンな研究会ですので会員、研究者にとどまらず、地域経営学・地域社会マネジメントに関心のある方は、どなたでも参加が可能です。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2026 年 3 月 30 日

地域経営学会会長 藤永 弘

第 49 回研究大会準備委員長 松本 大吾

第 49 回地域経営学会研究大会 開催要項

□主 催 地域経営学会

□テーマ 「持続可能なウェルビーイング地域社会の創造に向けて」

□日 時 2026(令和 8)年 5 月 23 日(土) 10:00～17:00

2026(令和 8)年 5 月 24 日(日) 9:30～17:00

□会 場 青森中央学院大学 (青森市大字横内字神田 12 番地)

※交通アクセス / JR 青森駅からバスで約 35 分「青森中央学院大学前」で下車、徒歩 2 分。

● 1 日目〈 5 月 23 日(土) 〉

***** 開 会 *****

【10:00】

□開会挨拶 (10:00～10:20)

研究大会準備委員長 青森中央学院大学 松本 大吾

地域経営学会会長 藤永 弘

□研究報告 (10:20～14:20) ※報告 30 分・質疑応答 30 分

- (1)「日本産梨の台湾市場に関する研究—台湾一般住民を対象としたアンケート調査に基づく基礎的分析—」 (10:20～11:20)

市川 聖 (青森中央学院大学)

- (2)「オーセンティック・リーダーシップが協働組織の活動成果に及ぼす影響—千葉県内の地域運営組織を対象としたアンケート調査から—」 (11:20～12:20)

中川 衛 (敬愛大学)

—昼食(12:20～13:20)—

- (3)「在日米軍による公共調達の軍種別傾向と地域企業受注の実態—USA spending を用いた比較分析—」 (13:20～14:20)

和田 茂憲 (東北大学院生)

□シンポジウム I (14:20～17:00)

テーマ 「持続可能な地域社会創造のための地域経営戦略を考える」

○モデレーター

堀籠 崇 (新潟大学)

○パネラー(基調報告・各 30 分)

「地域経営学の視点から」

藤永 弘 (札幌学院大学名誉教授)

「自治体の視点から」

昆 忠彦 (弘前大学大学院客員研究員)

「地域経済政策の視点から」

岩松 義秀 (名古屋産業大学)

□情報交換会 (18:00～20:00) ※希望者のみ

● 2 日目 〈 5 月 24 日(日) 〉

□研究報告 (9:30～12:40)

- (4)「地域ブランド形成アントレプレナーシップとビジネスモデル―北秋田市(株)松尾牧場を事例として―」(9:30～10:30)

小山 尚貴 (弘前大学院生)

- (5)「成田正義の経営哲学に基づく赤酢開発の事例研究―青森県におけるアップサイクル型地域経営モデルの理論的構築に向けて―」(10:30～11:30)

小野 智憲 (弘前大学院生)

―休憩 (11:30～11:40)―

- (6)「地域経営において社会福祉専門職業務を AI が代行する際の AI パーセプション―ソーシャル・キャピタルの視座からの分析―」(11:40～12:40)

川島 典子 (福知山公立大学)

―昼食 (12:40～13:40)―

□理事会・総会(13:40～14:10)

□シンポジウムⅡ (14:10～16:40)

テーマ「地域社会を先導する地方大学の再構築に向けて」

○モデレーター

松本 大吾 (青森中央学院大学)

○パネラー(基調報告・各 30 分)

「福知山公立大学の挑戦」

岡本 悦司 (福知山公立大学)

「福島学院大学の挑戦」

遠藤 哲哉 (福島学院大学教授)

「青森中央学院大学の挑戦―留学生を中心に―」

市川 聖 (青森中央学院大学)

□閉会挨拶 (16:40～17:00)

***** 閉 会 *****

【17:00】

大会後の調査視察のご案内

持続可能なウェルビーイングな地域社会の創造には、「地場産業の振興、地場の農業・水産業・林業・畜産業・狩猟業等の6次産化」等と共に、「地域の特性・資源を活かした起業」が求められています。また、大学教育、社会教育等において、「起業家育成教育」が求められています。

よって、当研究大会終了後の5月25日に、福島県川内村の特性・資源である豊かな自然を活かした起業である「naturadistill 川内村ジン蒸溜所」の調査視察(起業の経緯を含む)を企画しました。

概要は、次のとおりです。なお、参加希望者には、追って詳細をご案内いたします。

開催日	2026年5月25日(月)
視察先	株式会社 Kokage naturadistill 川内村蒸溜所 (https://naturadistill.com/)  
行程	JR 青森駅＝JR新青森駅＝JR仙台駅＝JR相馬駅… (9:53) JR東北新幹線はやぶさ14号 (11:29/11:40) JR常磐線 (12:41) …(昼食)…株式会社 Kokagenaturadistill 川内村蒸溜所…JR相馬駅(自由解散) (15:00～17:00) (18:30) (注)行程は、参加者の状況に応じて調整の余地がございます。詳細については、人数が確定次第、参加者へご連絡を差し上げる予定です。
費用	無料 (相馬市内の移動は学会で手配いたしますが、以外は各自でご手配ください。)

※エクスカーションの参加に希望される方は、「参加情報」とは別に地域経営学会事務局 昆 忠彦 宛 E-mail: kon_family2009@aioros.ocn.ne.jp へ **4月20日(月)**までにご連絡願います。申込者に対しては詳細内容が確定次第、事務局より別途ご案内いたします。

■研究大会の参加申込み方法

誠に恐縮ではございますが、準備の都合上、別添の様式「第49回地域経営学会研究大会参加者情報」を用いて、**4月20日(月)までに電子メールにて**ご連絡ください

〈申込み先〉地域経営学会事務局 昆 忠彦 宛 E-mail: kon_family2009@aioros.ocn.ne.jp